

# 診療看護師の活動について

診療看護師 平木 達也

診療看護師として4月より活動を開始しました平木と申します。

浜田医療センターには現在、私を含めて3名の診療看護師が日々の診療にあたっています。先輩の診療看護師は、外科、循環器内科にそれぞれに所属して活動しております。

診療看護師の教育が始まって約10年となりますが、まだまだご存じない方も多いと思いますのでご紹介させていただきます。

診療看護師は米国等で活躍しているNurse Practitionerという看護職をモデルとした看護師です。大学院の修士課程において、医学の知識や初期医療の実践に関する専門教育を受けた看護師であり、厚生労働省が推進しているチーム医療の一端を担う役割として創設されました。諸外国のNurse Practitionerが受けている教育に準じた所定のカリキュラムを修了した者は、診療看護師(NP)として協議会認定を受け、日本各地の病院や診療所、施設及び在宅等で活動しています。現在は法整備も進められており、業務拡大を図れるように変わりつつある状況です。

診療看護師の認定を受けると、当院では1~2年間、研修期間として各診療科をローテーションし、それぞれの診療科での診療行為(例えば、外科であれば手術に入って助手を行ったり、術後の患者さん管理や傷の処置をしたりといったこと)を医師の指導の下に実施し、知識、技術の向上を図れるよう日々活動しています。

診療看護師は、医師の包括的指示のもとに定められた項目の「診療の補助」(いわゆる医療行為)を行うことができます。また、侵襲の高い処置が実施できるだけではなく、患者さんを全体的に理解できるよう、疾患に対する基礎知識や治療行為などについても専門的な教育を受けておりますので、担当の医師が手術や外来などで手が離せない時に患者さんの状態に変化があった場合には、診療看護師が医師の指示のもと医師に代わって診察を行い、必要時には検査や点滴の指示など初期対応を行います。状況に



よってはすぐに医師に対応してもらわなければならないときもあり、そのような判断も診療の一要素としてあります。救急外来でも同様に初期対応を行うことで検査結果等を医師にすぐ確認してもらえる状況をつくり、早期に適切な治療が受けられるようにすることも役割の一つです。診療看護師は治療と看護(キュアとケア)両方の視点から患者さんに関わることができるため、表情や体のわずかな変化に早期に気づき、医師と協働しタイムリーに必要な医療や看護が提供することで、患者さんの病状の早期発見、症状悪化の予防につなげることができる存在だと考えております。

診療看護師として活動を始めてまだ日が浅く、力不足を感じる日々ですが、指導してくださる医師や先輩の診療看護師、スタッフの皆様と協働しながら、よりよい医療が提供できるよう努力してまいります。診療看護師ともども浜田医療センターをよろしく願いいたします。

ご拝読いただきありがとうございます。

